

福島第一港湾内・周辺海域の 海水モニタリング状況

TEPCO

2017年12月 6日
東京電力ホールディングス株式会社

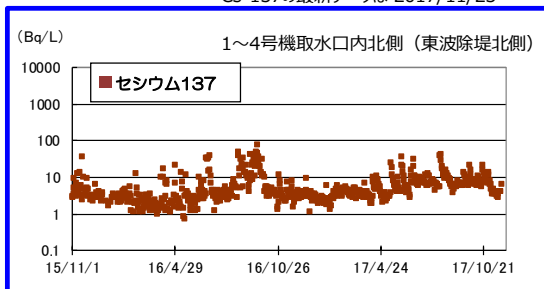
【1～4号機取水口開渠内】 海水サンプリング結果

■ 海側遮水壁閉合以降、放射性物質濃度は低下しているが、降雨時に一時的な上昇が見られる。

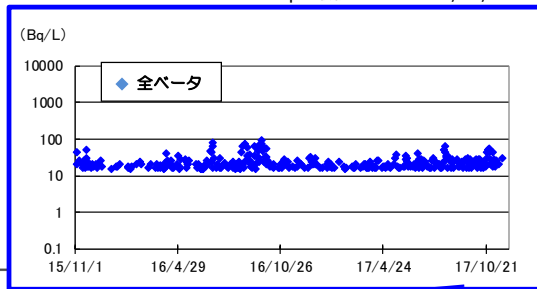
法令告示濃度 (ベクレル/リットル)

- セシウム137 : 90
- ▲ トリチウム : 60, 000
- ストロンチウム90 : 30

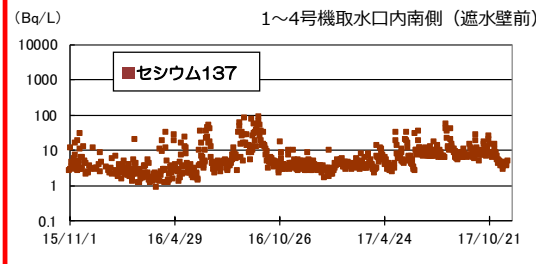
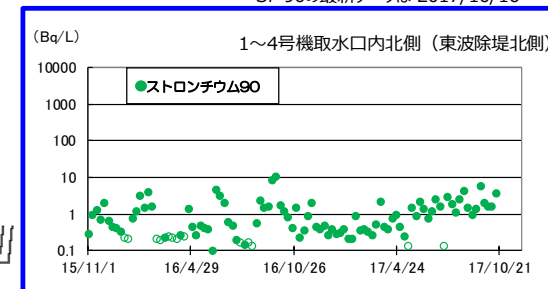
Cs-137の最新データは 2017/11/23



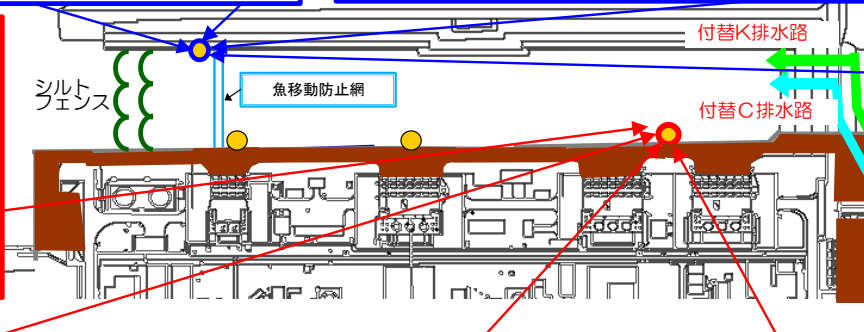
全βの最新データは 2017/11/18



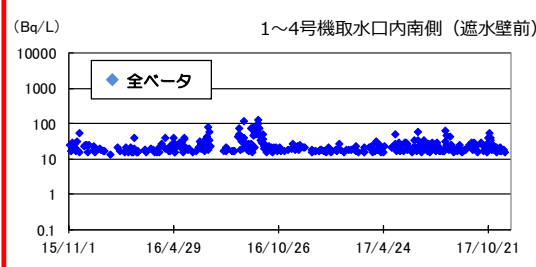
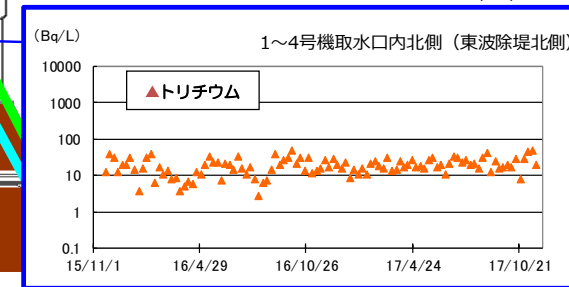
Sr-90の最新データは 2017/10/16



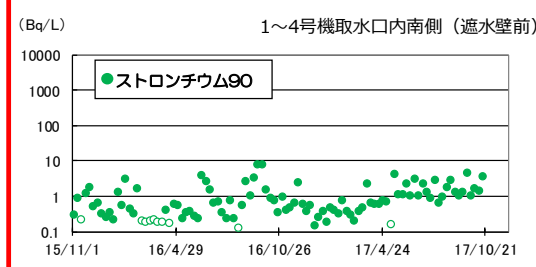
Cs-137の最新データは 2017/11/23



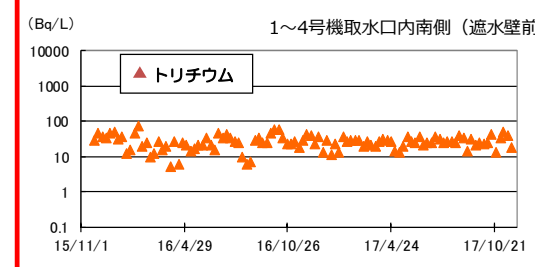
H-3の最新データは 2017/11/20



全βの最新データは 2017/11/19



Sr-90の最新データは 2017/10/16



H-3の最新データは 2017/11/20

- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- ストロンチウム90検出限界値

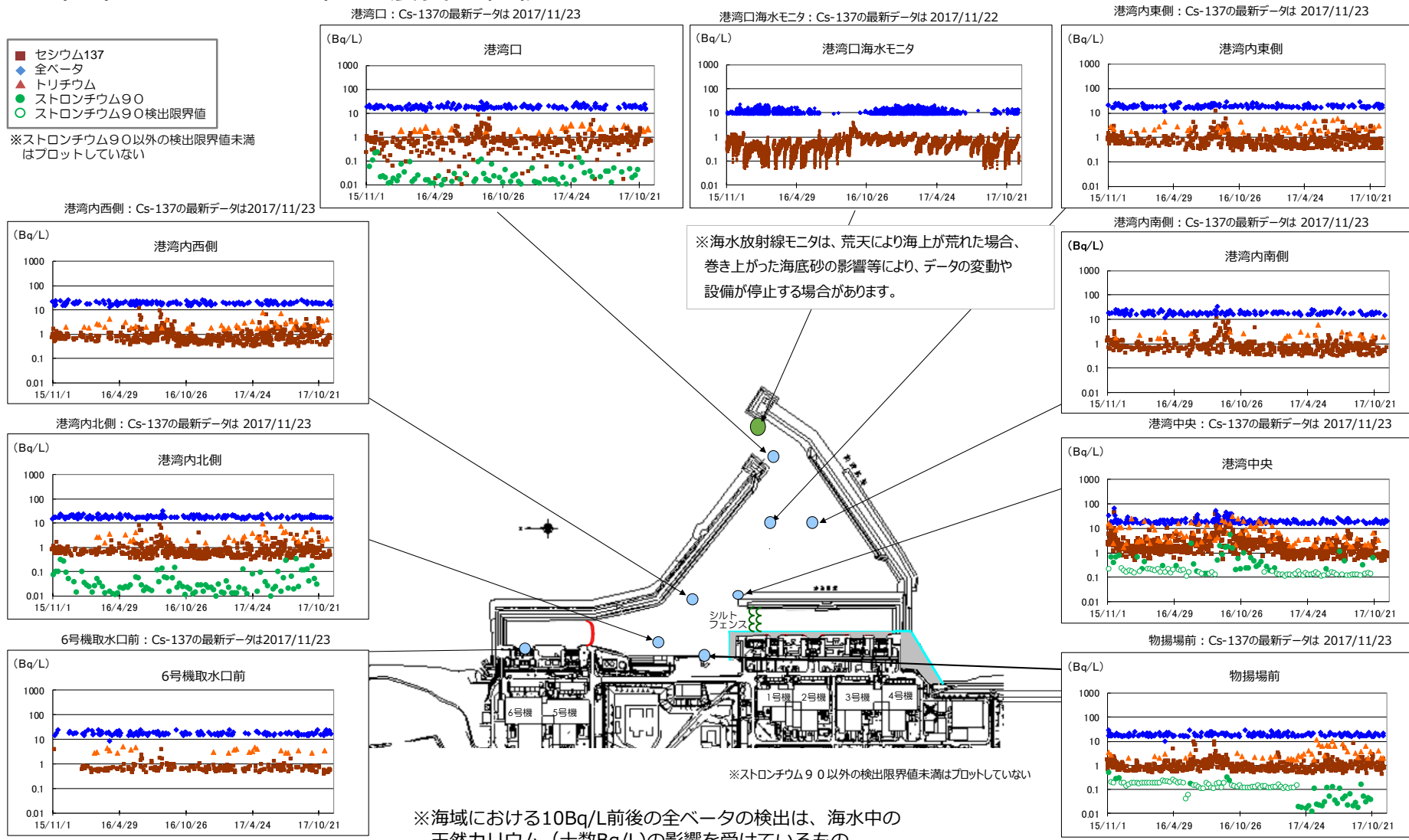
※ストロンチウム90以外の検出限界値未满是プロットしていない

※2015年10月26日 海側遮水壁閉合完了

※1～4号機取水口内南側(遮水壁前)は、最後に遮水壁閉合を実施した箇所。

※海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム(十数Bq/L)の影響を受けているもの。

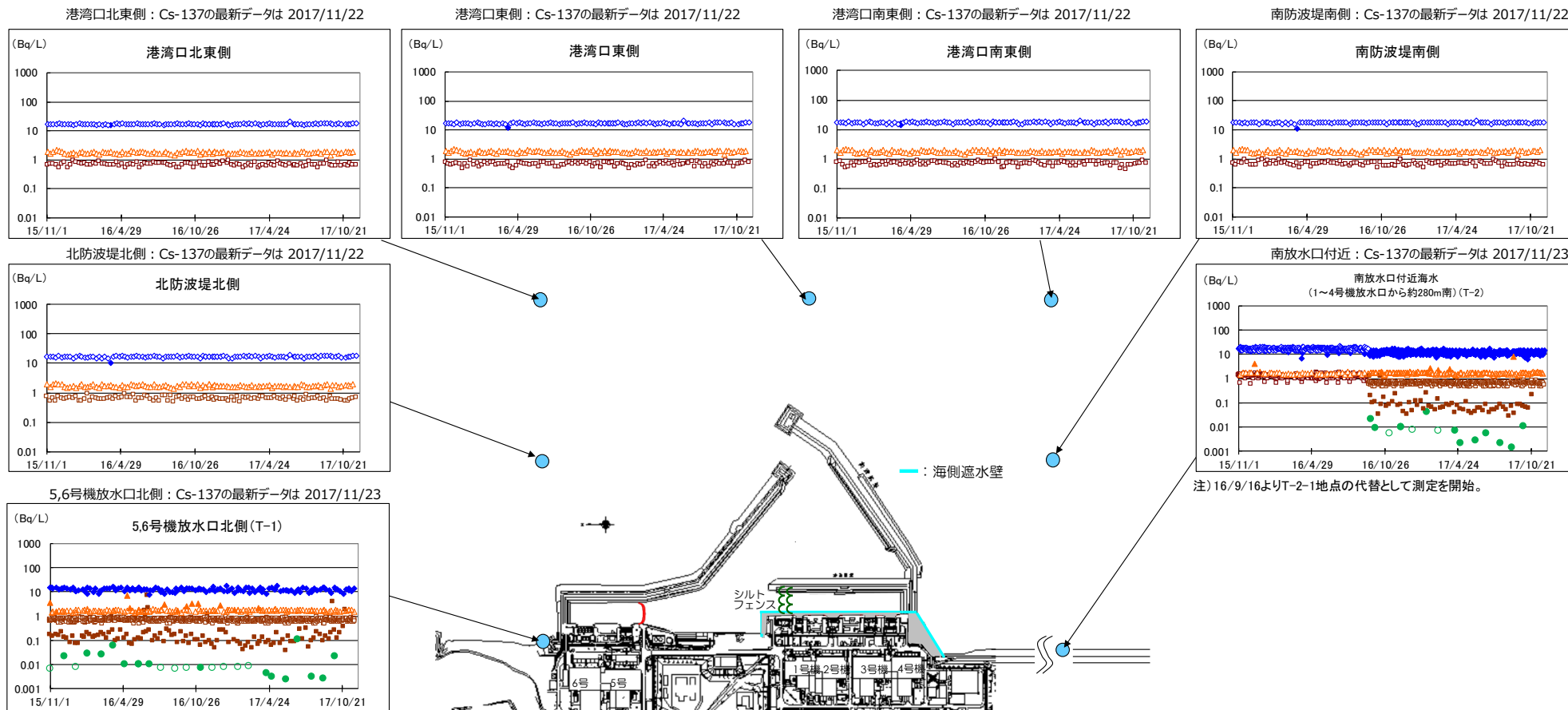
■ 海側遮水壁閉合後、港湾内の1～4号機取水口開渠の外側では、海水中の放射性物質濃度が低下し、その後は低い濃度が継続。



【港湾外（周辺）】 海水サンプリング結果

■ 港湾外の各採取点は、従来より低濃度であり、ほとんどが検出限界未満を継続。

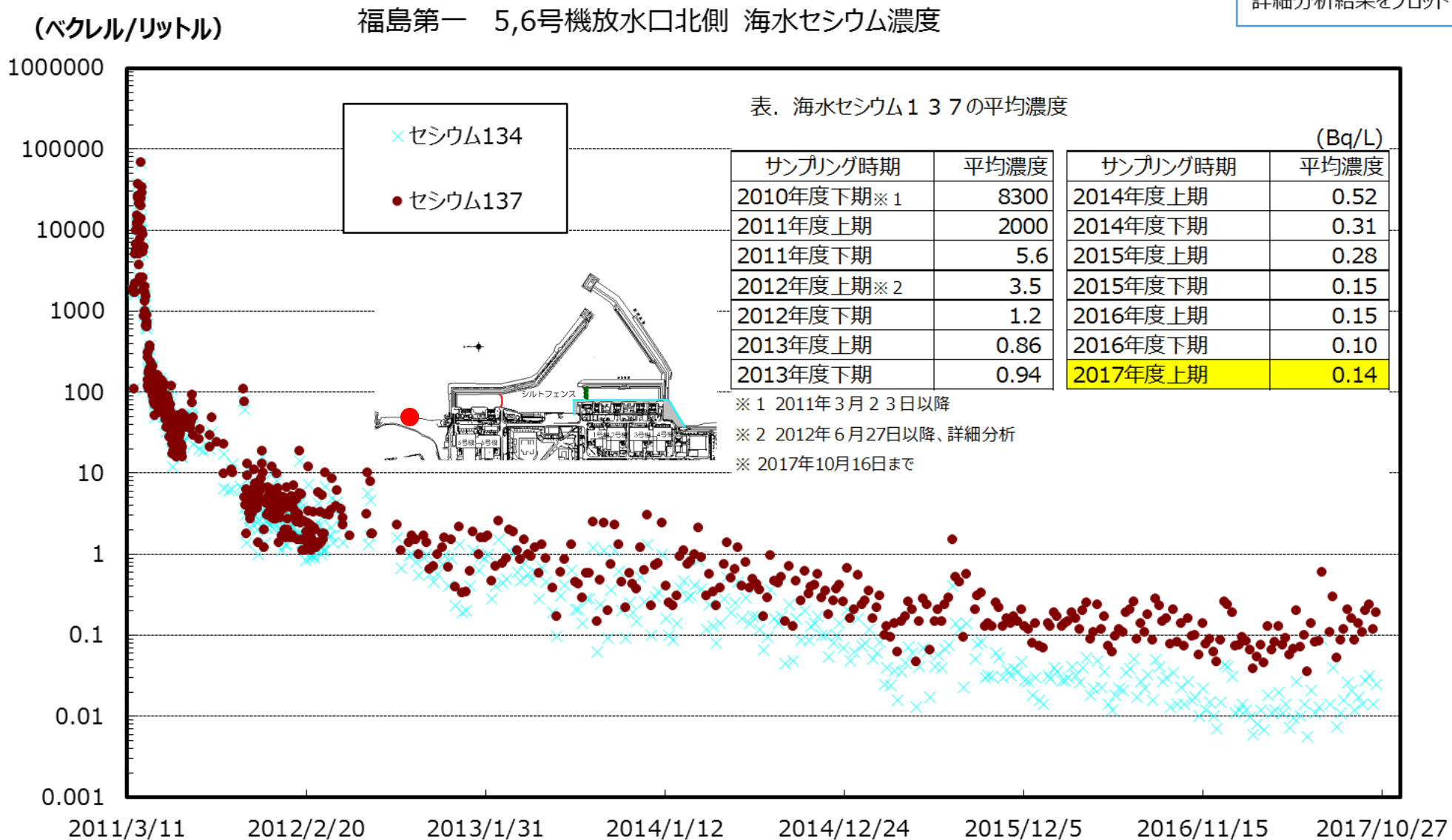
- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- セシウム137検出限界値
- ◇ 全ベータ検出限界値
- △ トリチウム検出限界値
- ストロンチウム90検出限界値



※海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているもの。
 ※5,6号機放水口北側（T-1）、9/13～南放水口約330m南（T-2）のセシウム137については、週1回の頻度で詳細分析を実施。
 ※2017年4月より、T-1、T-2のSr-90の検出下限値を0.01⇒0.001Bq/Lに変更。

【5, 6号機放水口北側】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、
詳細分析結果をプロット

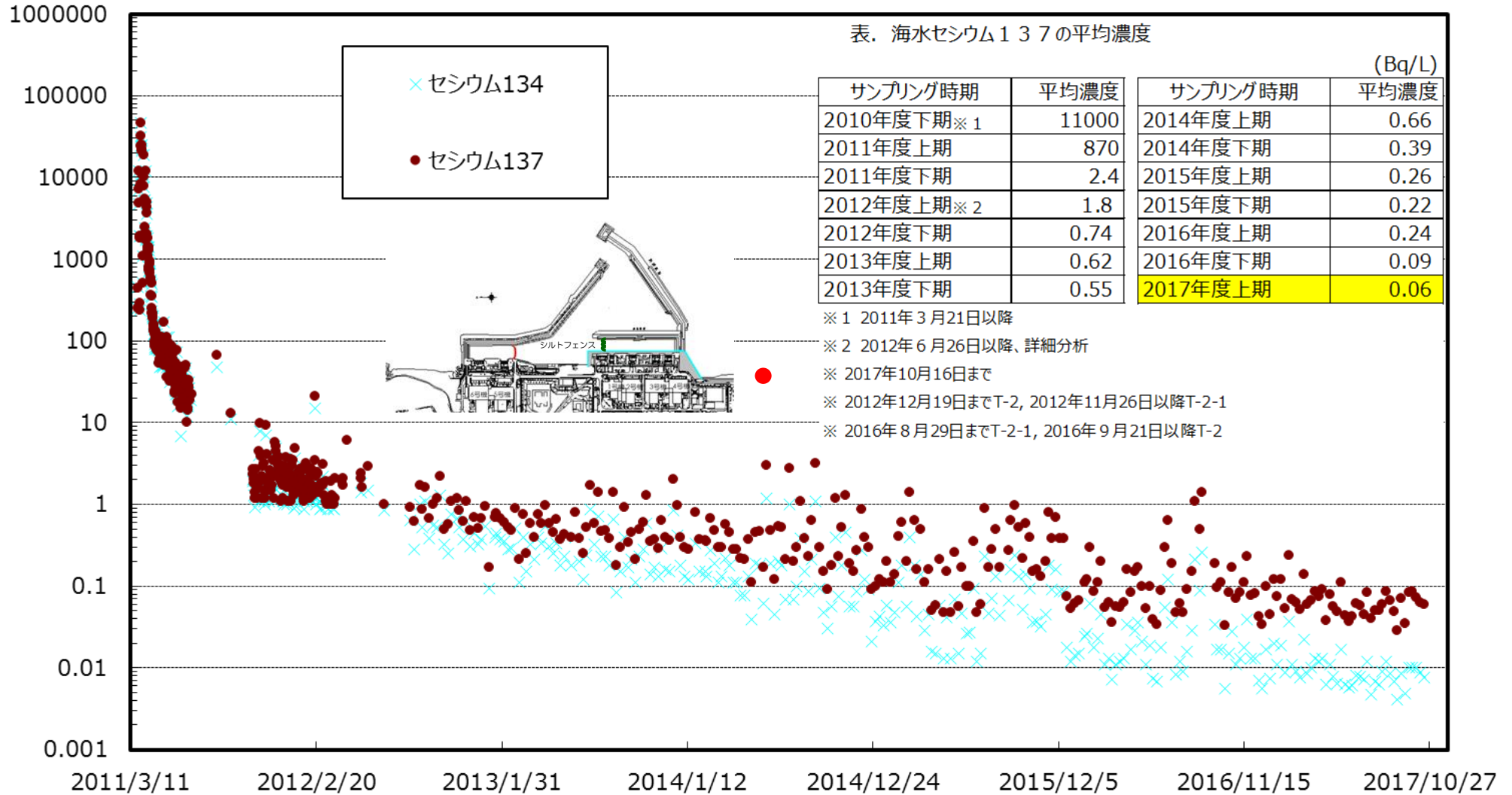


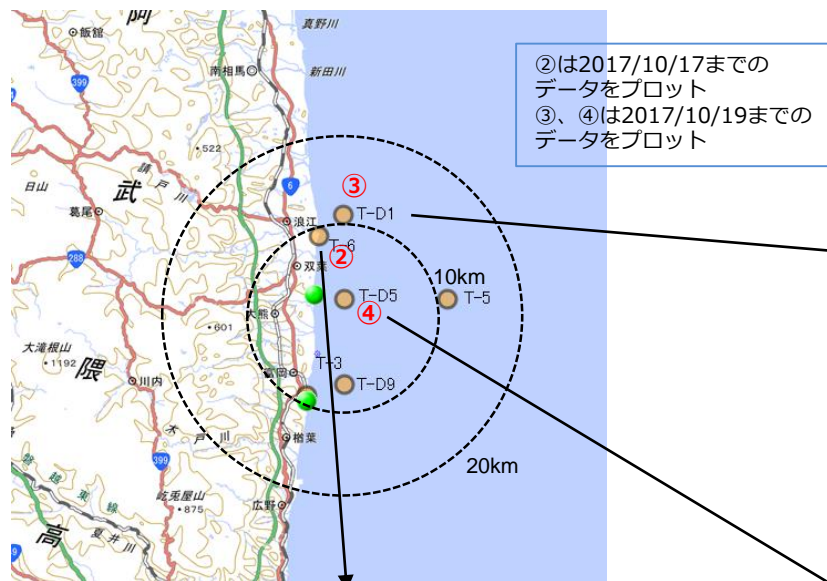
【南放水口付近】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、
詳細分析結果をプロット

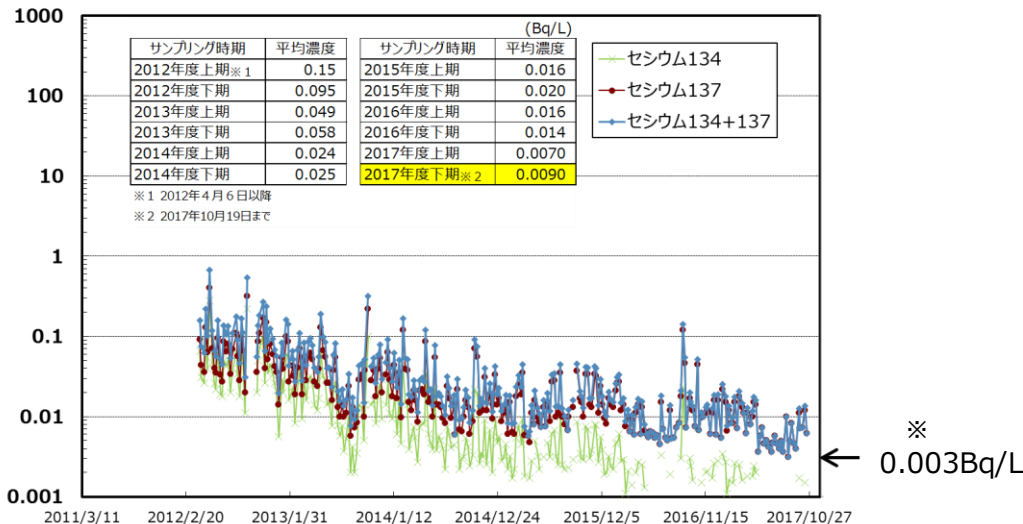
福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度

(ベクレル/リットル)

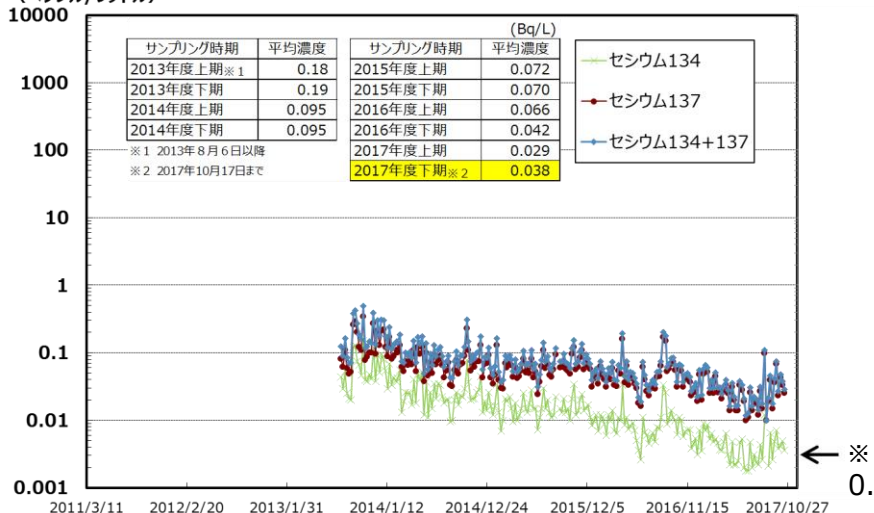




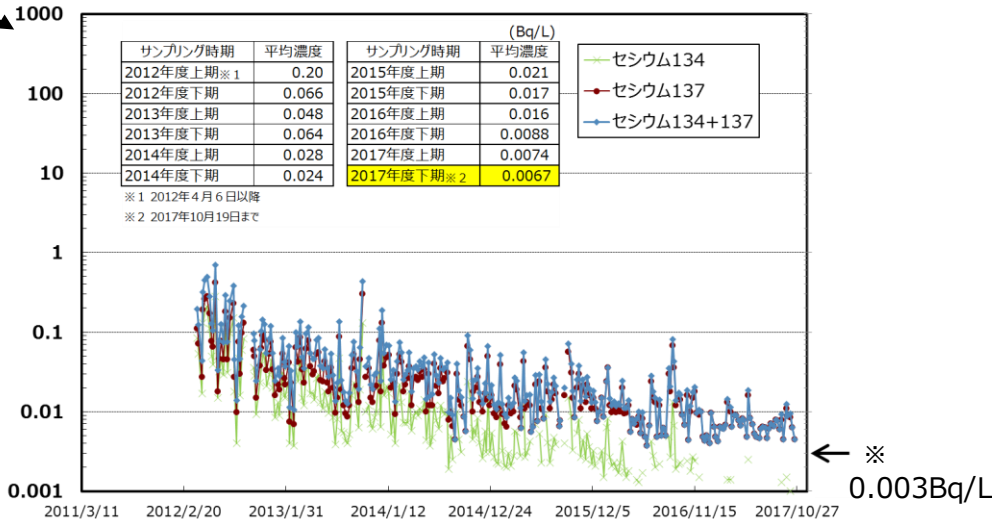
(ベクレル/リットル) ③ 請戸川沖合3km (T-D1) 海水セシウム濃度 (上層)



(ベクレル/リットル) ② 請戸港南側 海水セシウム濃度(上層)



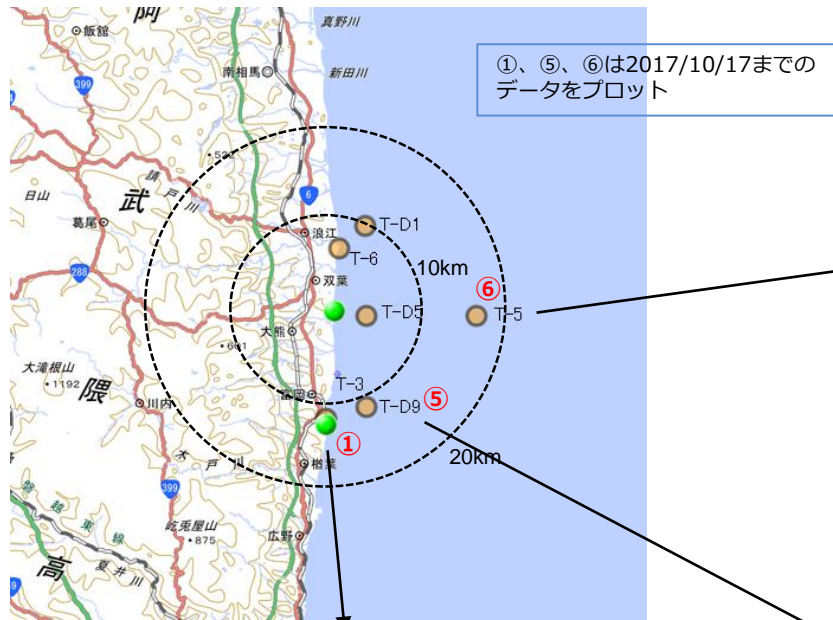
(ベクレル/リットル) ④ 福島第一 敷地沖合3km (T-D5) 海水セシウム濃度 (上層)



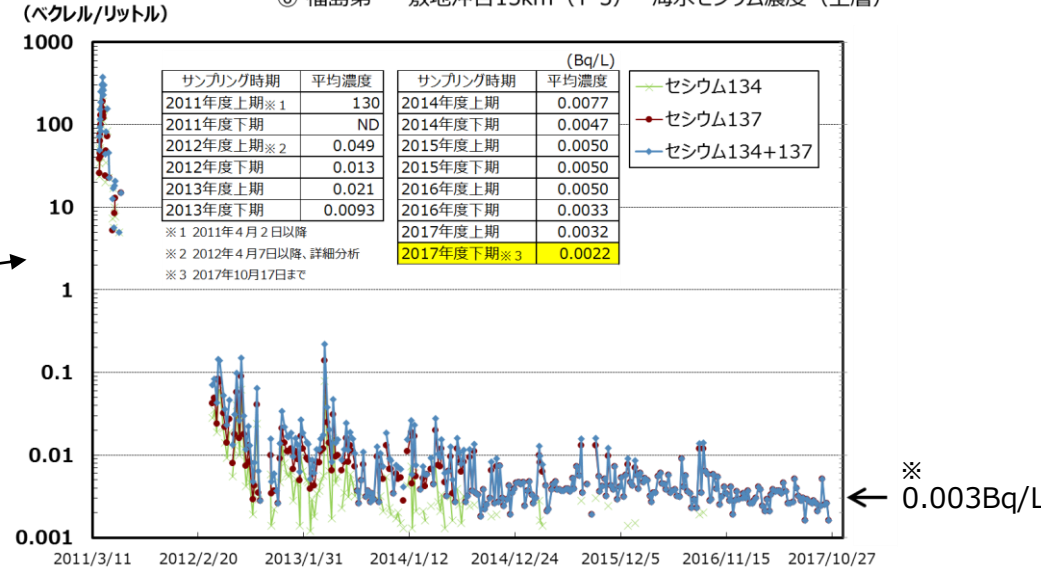
※グラフ右側の矢印は、震災前(平成22年度)の福島県海水セシウム137濃度 最大値0.003Bq/L

出典：公益財団法人海洋生物環境研究所 原子力施設等防災対策等委託費

(海洋環境における放射能調査及び総合評価) 事業 調査報告書

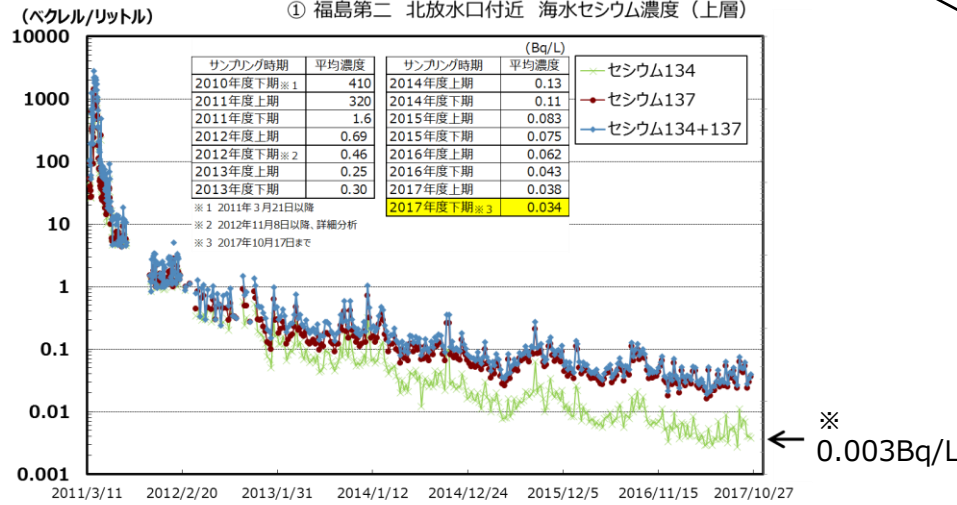


⑥ 福島第一 敷地沖合15km (T-5) 海水セシウム濃度 (上層)



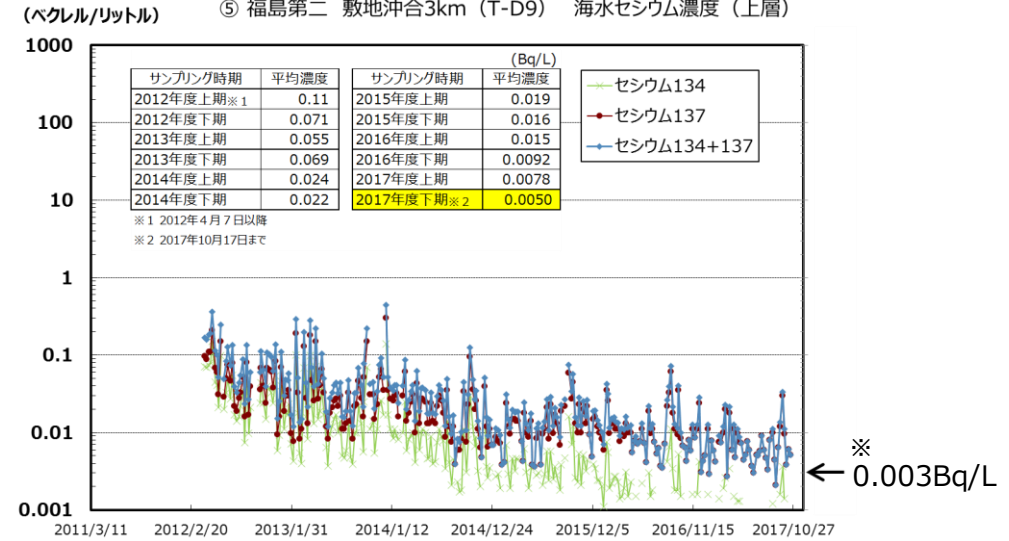
※ 0.003Bq/L

① 福島第二 北放水口付近 海水セシウム濃度 (上層)



※ 0.003Bq/L

⑤ 福島第二 敷地沖合3km (T-D9) 海水セシウム濃度 (上層)

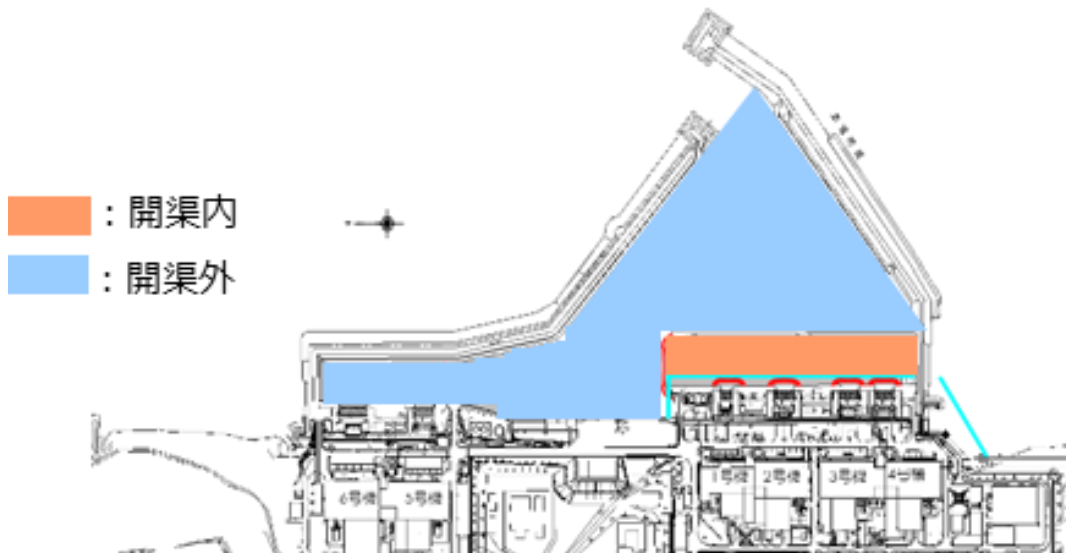


※ 0.003Bq/L

※グラフ右側の矢印は、震災前（平成22年度）の福島県海水セシウム137濃度 最大値0.003Bq/L

出典：公益財団法人海洋生物環境研究所 原子力施設等防災対策等委託費
 (海洋環境における放射能調査及び総合評価) 事業 調査報告書

<参考> 海側遮水壁閉合前後の海水中放射性物質濃度平均値



		前5日間 平均値 ^{※1}	後5日間 平均値 ^{※2}	至近 平均値 ^{※3}
全β	開渠内	150	26	18
	開渠外	27	16	17
Sr-90	開渠内	140	8.6	10
	開渠外	16	2.1	0.093
Cs-137	開渠内	16	3.8	3.6
	開渠外	2.7	1.1	0.48
H-3	開渠内	220	110	47
	開渠外	1.9	9.4	2.2

- ※ 2015年10月26日 海側遮水壁閉合完了
- ※ 全ベータとセシウム137は11/12, ストロンチウム90開渠内（速報値）は10/31, ストロンチウム90開渠外は10/2, H-3は11/6に採取した各地点の平均値

<参考> 敷地内地下水のモニタリング状況

■ 全般的に、過去の変動範囲内で推移しており、大きな変動は見られない。

No. 0-1

セシウム137: 28 (11/13)
全ベータ : 110 (11/13)
トリチウム : 13,000 (11/13)

No. 1-9(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※¹ (11/17)
全ベータ : 86 (11/17)
トリチウム : 1,400 (11/15)

No. 2-7(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: 0.78 (11/18)
全ベータ : 310 (11/18)
トリチウム : 900 (11/16)

No. 3-5(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※¹ (11/16)
全ベータ : 31 (11/16)
トリチウム: 120 (11/9)

No. 0-2

セシウム137: ND<0.43> (11/13)
全ベータ : ND<14> (11/13)
トリチウム : 420 (11/13)

No. 1-8

セシウム137: 1,300 (11/14)
全ベータ : 4,500 (11/14)
トリチウム : 910 (11/14)

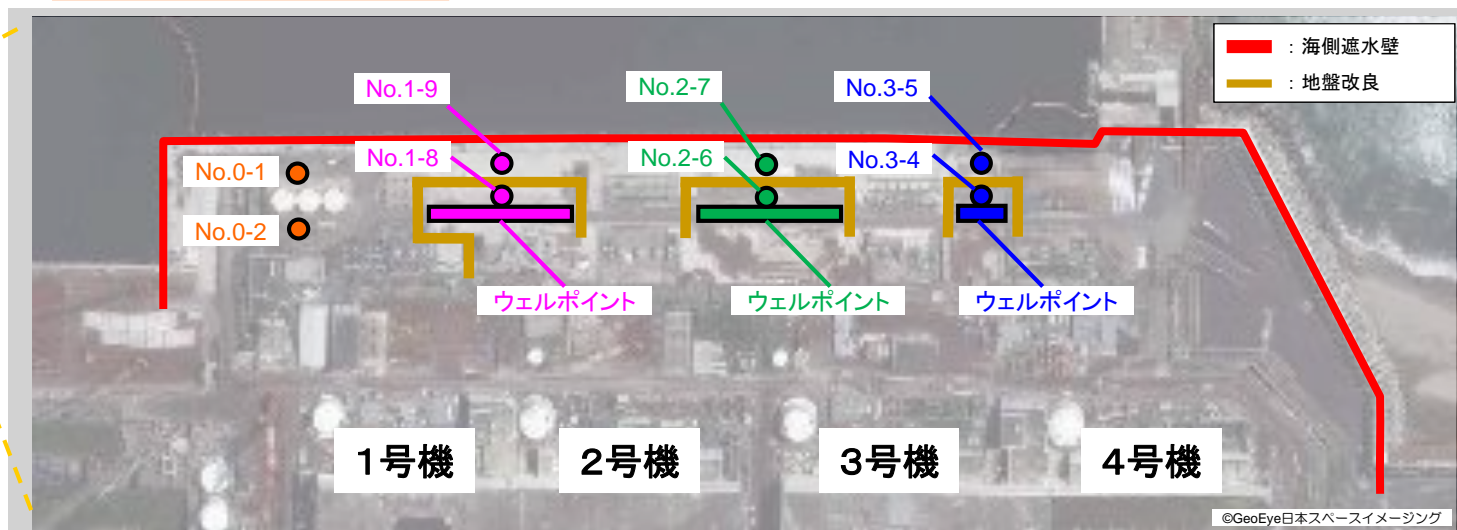
No. 2-6

セシウム137: ND<0.48>(11/17)
全ベータ : 68 (11/17)
トリチウム : 950 (11/15)

No. 3-4

セシウム137: 5.4 (11/16)
全ベータ : ND<15> (11/16)
トリチウム : 1,700 (11/9)

単位: ベクレル/リットル
ND: 検出限界値未満
<>: 検出限界値



1・2号機ウェルポイントくみ上げ水

セシウム137: 27 (11/14)
全ベータ : 130,000 (11/14)
トリチウム : 17,000 (11/14)

2・3号機改修ウェルくみ上げ水

セシウム137: 4.5 (11/16)
全ベータ : 200 (11/16)
トリチウム : 480 (11/13)

3・4号機改修ウェルくみ上げ水

セシウム137: 1.3 (11/16)
全ベータ : 17 (11/16)
トリチウム : 430 (11/9)

【参考】法令告示濃度 (単位: ベクレル/リットル)

・セシウム137: 90 ・全ベータ: 30 ・トリチウム: 60,000

※1: No.1-9, No.3-5は採水器による採取のため、γ測定(セシウム)は実施せず、全ベータは参考値として過後に測定。